

## 解答

- 一 問一 A 領分 B 点在 C 周遊 D 有志 E 救  
F 縮 G 痛感 H 冷蔵 I 現象
- 問二 本好きで、十年以上も本屋で働いていた人間
- 問三 日本の有機農業の草分け的存在である佐藤忠吉の本を読み、その地に足がついた言葉のしなやかな強さに憧れたこと。
- 問四 X 種の入ったビニール袋を見られた  
Y いつか農業に携わってみたいと話をした  
Z 有機農業を営む知人の求人を紹介された
- 問五 自らの体を物差しに世界を見る訓練のような農作業を続けた結果、畑の風景を具体的な距離や広さとして把握できるようになった。
- 問六 料理も衣服 〽 にならない
- 問七 農業を営み畑の様子から季節の移り変わりを感じながら、そこに連なる生活の知恵を学んでいくこと。
- 二 問一 何十年も変わらない自分の味・誰かのために作ること  
問二 夫や家族を喜ばせる味付けの料理  
問三 火を使い味を調べ、食材を食事に変える面白さや、料理を「美味しい」と食べてくれる家族を見るうれしさ。  
問四 口に合わない料理でも、工夫して料理してくれた母への気づかいを示さねばならない息子があわれだから。  
問五 「料理を作ったのだから、喜んで食べるのは当然だ」というエゴや、美味しい料理へのプレッシャーなど、余計な考えを感じさせること。  
問六 料理が美味しくなり、家族が喜んでくれる料理ができる。  
問七 良い素材を使ったシンプルな料理や、自分が好きで楽しんで作れるメニューが増えた。
- 三 問一 人がらや性格が丸く、穏やかになる。  
問二 ウ  
問三 オ  
問四 世間の誘惑  
問五 A 人間の豊かさや理想的な未来の象徴  
B 自分の生き方が、カネやモノといった現実的な物欲に支配されていないか、反省し、理想を思い起こすこと。  
問六 年をとり、夢や希望を声高に叫んだり、現実を変える行動を起こしたりできない様子。